

平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【女子第2回戦】 第1日目 Cコート 第6試合

チームA 川和 神奈川	70	11 1Q 38 12 2Q 40 27 3Q 37 20 4Q 22 OT	137	チームB 東京成徳大学 東京
--------------------------	----	--	-----	-----------------------------

川和

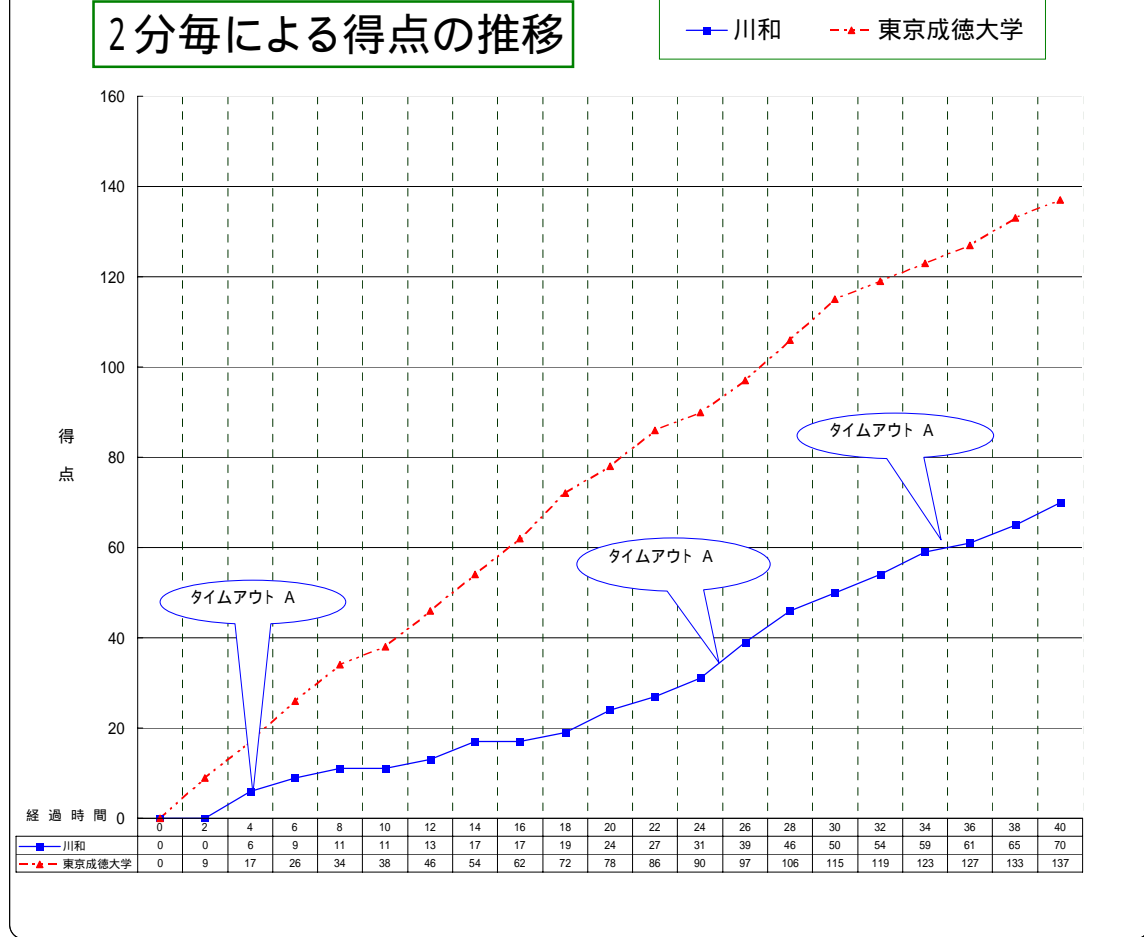
番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	上田 亜貴子	16			3	7	10	2	2	5	1	1	9	3	4	32
5	佐々木ゆり江	17			4	8	16	1	2	4	1		4	2	4	40
6	大治 美穂	11	1	4	4	4	11			3		2	5	1	2	33
7	岡 綾乃	10				4	14	2	3	3	1	3	3	4	1	34
8	上田 有貴子	10	2	3	1	1	2	4				2	2	1	2	19
9	奥本 みづほ															DNP
10	鈴木 絢佳															DNP
11	谷田 佳子	2		1	1	1			1				3			12
12	谷垣 美紀															DNP
13	大平 亜里沙															DNP
14	渡邊 桜子															DNP
15	相澤 香穂里			3		1			2				3			24
16	伊東 愛美															DNP
17	中本 みな美	4			2	3		2	2				1			6
18	横川 ゆりあ															DNP
コーチ	中村 俊哉															
		70	3	18	27	57	7	13	20	3	8	30	11	15	1	200
		確率	16.7%		47.4%		53.8%			計	11					

東京成徳大学

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	本田 雅衣	10			4	8	2	4	1		1	2	2	2	1	20
5	光山 慈能	14		1	7	9				1	1	3	1	5	1	20
6	天野 佳代子	15			5	7	5	5	2	1	1	3	2	3	2	20
7	間宮 佑圭	22			11	15			2	1	2	7	3	4	1	20
8	富田 夕貴	4		2	2	2			2		2		1	4		12
9	片山 浅美	8			4	5			2	1		5	2	3		20
10	田尻 泰菜	13			6	7	1	1	1	1	7	2	1			16
11	工藤 安沙子	2			1	4				2	1	6		2		10
12	岡元 真由子	2			1	1						2				3
13	水野 圭子	12				6	12			2	1	1	1	1		14
14	宮崎 優子	13	1	1	5	16		2					3	4		20
15	岡本 明子	5	1	1	1	1					1	1				5
16	高橋 美穂	2		1	1	4										5
17	野間 星来	10			4	5	2	2			1					6
18	金子 知佳	5	1	1	1	3			1			3	1			9
コーチ	下坂 須美子															
		137	3	7	59	99	10	16	12	9	28	25	20	23	4	200
		確率	42.9%		59.6%		62.5%			計	37					

スターティングメンバー
: 出場選手

2分毎による得点の推移



戦評

スターティングメンバーの平均身長が164.4cmの川和に対し、174cmの東京成徳は、序盤から高さを生かした攻撃で主導権を握る。ハーフコートマンツーマンの川和に対し、東京成徳はミスマッチを生かして至るところからゴール下にバスを合わせて手堅く得点を重ねる。一方、川和は#4上田を中心にスピードあるドライブ、パス回しでマンツーマンディフェンスを破ろうとするが、東京成徳の高さにシュート・パスとも思うように決まらず攻めきることができない。逆に、東京成徳は、ディフェンスで激しくプレッシャーをかけ、リバウンド・スティールから速攻を仕掛け#7間宮を中心にインサイドで次々と得点を重ねる。前半は、東京成徳の高さばかりが目立つ一方的な展開となった。

第3P、メンバーを大幅に入れ替えた東京成徳に対し、川和は#4上田、#5佐々木のドライブなどで得点し、ようやく本来の攻撃のリズムを取り戻す。しかし、東京成徳の#10田尻、#13水野の高さを生かした攻撃は抑えられず、得点差を縮めるまでには至らなかった。

第4P、控えのメンバーの東京成徳に、最後まで早い展開の攻撃で諦めず対抗しようとする川和。時折、見事に速攻を決める場面も見せたが、最後まで高い壁を崩すことはできず、137対70で東京成徳が危なげなく勝利した。

主審	稲葉 威(本部)	副審	豊島 幸子(茨城)	記入者	中山 徹也
----	----------	----	-----------	-----	-------